



須坂市立常盤中学校だより

碧 空

平成 24 年
9 月 7 日 (金)

第 9 号

常盤中学校における「活用方法選択型教員配置事業(選択型こまやか教育プラン)」

長野県では、「学校ごとの様々な教育課題に柔軟に対応できるよう、市町村教育委員会や学校現場の判断で活用方法を選択できる教員配置を行うことにより、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を行い、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る」取り組みとして、県全体として本年度約 46 億円の予算をかけて「活用方法選択型教員配置事業(選択型こまやか教育プラン)」を行っています。

本校でもその事業を活用して、以下のような教員配置を行っています。

活用メニュー	活用方法	本校での活用
少人数学習集団編成	習熟度に差が生じやすい教科で、30 人以下の学習集団が編成できるように教員を配置	・ 3 年数学における少人数学習集団の編成(2 クラスを 3 つのコース)
30 人規模学級編制 または 少人数学習集団編成	30 人規模学級編制を選択した場合には、学級数の増加に伴う教員を配置	・ 2 学年において、30 人規模学級編制を実施
不登校等児童生徒支援	不登校・不適應等児童生徒に対する指導・支援を行うよう教員を配置	・ 不登校・不適應等生徒に対する個別学習室での指導 ・ 不登校・不適應等生徒の支援会議への参加
理科指導特別加配	中学校理科指導時数増加に伴う指導方法の工夫・改善のための教員を配置	・ 1, 2 学年理科 4 クラスの授業担当(他の理科職員の負担軽減) ・ 3 学年理科の T T 指導(4 時間中 2 時間)

これらの事業は、常盤中学校でも昨年度から活用しており、「少人数学習集団編成」「30 人規模学級編制」「理科指導特別加配」では、NRT 検査や全国学力・学習状況調査という客観的なデータから次のような効果が見られます。

N R T 検査		国語	数学	理科	英語
2 年生 (4 月実施)	23 年度	49.3	49.2	50.0	47.6
	24 年度	52.8	52.3	51.8	50.8
	前年比	1.071	1.063	1.036	1.067

現在の 2 年生は、1 年生のときから「30 人規模学級編制」と「理科指導特別加配」ということで、きめ細やかな指導を行ってきています。その結果、1 学年の学習内容に関する NRT 検査では、前年度の 2 年生より各教科における偏差値の平均が高くなっています。

また、定期テストの度数分布を見てみると「得点が中下位の生徒の割合が減少」「平均点の半分以下の得点にとどまった生徒の割合が減少」そして「得点が 8 割以上の生徒の割合が増大」といった成果も見られます。

全国学力学習状況調査		国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科 A	理科 B
3 年生 (4 月実施)	常盤中	75.1	64.8	63.1	51.7	55.4	46.7
	長野県	76.3	63.8	62.3	48.8	56.1	47.7
	全国	75.1	63.3	62.1	49.3	56.1	47.8

一方、現在の 3 年生は、4 月に行われた全国学力・学習状況調査の結果において、国語 A が長野県の平均正答率を下回ったり、理科 A・理科 B が長野県と全国の平均正答率を下回ったりしているものの、国語 B・数学 A・数学 B については長野県と全国の平均正答率を上回っています。

今年度長野県の順位は全国で 10 位～28 位であり、2010 年度調査の 40 位前後だった時と比べ、全体的に上昇し、本校でも確実に成果が上がっているところです。

現在 3 年生は、数学において少人数学習を実施しています。2 クラスを 3 つのコース別(学級単位とした基礎コース 2 つ、2 学級から集まる応用コース 1 つ)とし、生徒の学習状況に応じた指導を行っています。

学校では、こうした客観的データから各教科の考察を行い、課題の洗い出しと取り組む方向について決めだし、日々の授業改善や家庭学習の工夫を行っています。また、生徒・保護者のみなさんからの声を聞きながら、一層の充実を図りたいと考えています。

さらに、「不登校等児童生徒支援」では、個別学習室での学習の環境を整え、生徒一人一人の状況・ニーズに応じたきめ細やかな指導を行い、学級での学習にうまく適応できない生徒たちがゆったりとした学習空間の中でじっくり学習に取り組んだり、欠席日数が大幅に減少しています。

こうした事業について、学校では毎年成果の検証と課題の洗い出しを行い、長野県教育委員会へ報告するとともに次年度も継続した配置が行えるように申請を行っています。

須坂市独自の加配について

そして、須坂市でも独自に予算をつけて、以下の加配の先生が本校に来ています。

加配員	仕事内容
不登校支援教員	・ 不登校・不適應等生徒に対する個別学習室での指導 ・ 不登校・不適應等生徒の支援会議や生徒指導係会への参加
教育支援員	・ 特別支援学級在籍生徒の学習や生活支援
図書館司書 心の教室相談員	・ 図書館一般事務業務 ・ 生徒の悩み事等の相談・話の聞き役
外国籍等生徒学習支援員	・ 日本語を母国語としない生徒の学習支援
スクールカウンセラー	・ 様々な悩みや不安を抱える生徒や保護者の支援

このように常盤中学校は、様々な立場の先生方が豊かな経験や確かな技量を基に、多面的に生徒たちへの支援を行っています。そして、それはバラバラに動くのではなく、組織として情報を共有し、連携しながら一人一人の生徒・保護者の立場になってサポートしています。

また、生徒のみなさんや保護者・地域の皆様の各種相談(いじめ問題・不登校・スクールセクハラ・スクールカウンセラー申込等)の窓口は、学級担任はもちろん教頭・養護教諭などになりますので、ご遠慮なく連絡(Tel 245-0326)ください。